

## 教員選考に係わる提出書類の記載要領

### <履歴書>様式 1

- ・「年齢」は採用予定日（令和7年4月1日）における満年齢を記入してください。
- ・「本籍」は、日本国籍の方は都道府県名を、外国籍の方は国名を記入してください。
- ・「1. 学歴」の欄について
  - ① 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する場合、すべての学歴を記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。なお、規定単位を取得したものの博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得満期退学」と記入してください。
  - ② 大学の別科、専攻科については「学歴」欄に、研究生、聴講生等は「職歴」欄に記入してください。
  - ③ 外国の大学等の経歴を記載する場合、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。
  - ④ 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
- ・「2. 職歴」の欄について
  - ① すべての職歴（自営業、主婦、無職等を含む）を記入するとともに、職名、地位等についても明記してください。
  - ② 各職歴について在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入してください。
  - ③ 研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
  - ④ 過去における教員組織審査において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称（大学院にあつては、判定結果を含む）を記入してください。
  - ④ 大学教員の職歴については、主な担当授業科目を併記してください。
  - ⑤ 園芸療法や園芸福祉分野の実務に関する職歴については、主たる担当業務を中心に、下記の例を参考に従事した仕事、職務内容、成果等を詳細に記載してください。  
〔例〕
    - ・担当予定科目に関する業務実績
    - ・園芸療法等に関する実務実績
    - ・専門家教育・実務者教育等に関する実務実績
    - ・市民との協働や社会園芸・園芸福祉などに関する実務実績
    - ・各種審議会、行政委員会等の委員

- ⑥ 現在の職務の状況については申請時現在における職務の状況を記入してください。  
「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」「准教授」等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、「取締役」「部長」「理事」等の職名を記入してください。職名がない場合は、「－」を記入してください。また、勤務状況等については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入し、それ以外の場合は、担当している職務の内容を簡潔に記入してください。

・「3. 賞罰」の欄について

研究・業務に伴って受賞したものについて件名、年月等を記載してください。

・「4. 学位・称号・資格」の欄について

学位、称号の他、技術士、教員等の資格については担当教育の領域および担当予定授業科目に関連すると思われるものについて「学位・称号・資格」欄に記入してください。この場合、登録番号も付記してください。なお、学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目も併記してください。また、免許についても技術士、教員等で、担当教育の領域および担当予定授業科目に関連すると思われるものについて記載してください。

## ＜研究・実務業績＞様式2

「研究・実務業績」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。

・「1. 著書」の欄について

- ① 著書、学術論文等の名称については、(著書)、((学術論文) および (その他) の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
- ② 当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には「共著」と記入してください。
- ③ 当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。
- ④ 著書については、発行所を記入してください。
- ⑤ 共著の場合は、本人の担当部分の概要及び掲載頁(例 P〇〇～P〇〇)を明記し、また、本人の氏名(下線を付すこと)を含め著作者全員の氏名(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名)を当該著書等に記載された順に記入してください。
- ⑥ 共著の場合で本人の担当部分を抽出するのが困難な場合、その理由を記入してください。

・「2. 研究及び実務の業績リスト」の欄について

- ① 学術論文については、学術雑誌、学会機関紙、研究(技術)報告、紀要等に学術論文

として発表したものの題名を記入してください。

- ② その他については、学会作品選集、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等は、当該テーマを記入してください。
- ③ 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。
- ④ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。
- ⑤ 実務実績について、本人以外に関わった者がいる場合は、実務全体に対しての役割分担、本人が担当した実務がわかるように記載してください。

・「5. 特許」について

特許、実用新案等で、担当教育の領域および担当予定授業科目に関連するものと思われるものについて記載してください。

・「6. 受賞」の欄について

実務に関して個人ではなく実務に従事した所属として受賞した場合は、その受賞に対して本人がどの程度関わっていたのか、受賞理由に照らして本人の功績がどの程度であるかを詳細に記載すること。

### <教育経験及び学会・社会における活動など>様式3

・「1. 教育経験」の欄について

「4) 養成講座など社会教育」については、

- ・ 市民との協働や社会園芸・園芸福祉などに関する研修講師等
- ・ 関連職能団体の依頼による研修指導等
- ・ 専門的な実務に関する教育・研修会の講師等
- ・ 大学等の教育機関における公開講座や、社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講師等

について記載してください。

・「2. 学会・実務業界活動」の欄について

- ① 「所属している学会」には、所属している学会および過去に所属していた学会の名称を記入してください。
- ② 学会及び実務業界活動等のうち、専門分野等に関連する事項を記入してください。

・「3. 社会における活動等」の欄について

社会における活動等のうち、専門分野等に関連する事項を記入してください。

また、活動が所属する組織の職務遂行に関わるものである場合は「職務」、職務とは関

係なく個人的な活動の場合は「個人」と明記してください。

・「4 その他」について

- ・ 大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等
- ・ 国家試験問題の作成等